

thou shalt not kill

# 汝殺すなかれ

永澤俊矢

平田満

石堂夏央

あたしたち、ふつうだよ。



永澤俊矢

平田満

石堂夏央

入江達也

友居達也

神崎恵美

山崎正人

堀内正美

泉孝雄

外波山文明

山本廉

佐藤允

スタッフ

プロデューサー

岡本東郎

岡生晃司

細谷隆広

井上文雄

岡本大介

藤島修一

角井孝博

田部谷正俊

小原善哉

平川恵子

門司肇子

武内孝吉

長崎新治

松川英延

高瀬得嗣

大畑信政

パップ

アルゴ・

ピクチャーズ

佐藤 関介

©1988バン

# thou shalt not kill

美大くずれの若き殺し屋とその助手の女の子、そして偶然彼らと出会った平凡なサラリーマン。仲間となった3人が殺しのビジネスを重ねるうちに、いつしか不思議な交流が始まるが……。

『バナナシュート裁判』『曖・昧・Me』で注目を集めた俊英・佐藤闖介監督の第三作は、意外にもハードボイルド風アクション……。



登場する殺し屋たちは、町ですれ違ったり、酒場で隣合わせに座ったりしてもそれと分からない、ごく普通の中年男や若者たちばかり。まるでミッキー・スピレインの世界にロアルド・ダールのキャラクターたちが紛れ込んだかのような、いわば“あなたに似た人”が繰り広げる、奇妙な味のアクションだ。

## これは日常の風景を数センチばかり横にズラした物語。

そう、これは殺し屋という職業を選んだ人々をめぐる、アクションの形をとったメルヘンであり、ハードボイルド調の寓話なのだ。レオス・カラックス“汚れた血”、ウィム・ヴェンダース“アメリカの友人”、ルネ・クレマン“狼は天使の匂い”といった系譜に連なる作品が今、ここに誕生した。

主演は、アントニオ・バンデラスを思わせる野性味とナイーブな個性が光る永澤俊矢。ヒロインには『オートバイ少女』で鮮烈なデビューを飾り、『119』『シークレットワルツ』などで個性派女優としてのキャリアを着実に重ねている石堂夏央。そして作品の要となる役を、『蒲田行進曲』『君を忘れない』の演技派平田満が絶妙に表現している。

カラー/1時間37分/1996年作品

◎夢見がちでもなければ現実的でもない、熱くもなければ冷静でもない。「普通の呼吸の中にチクリと刺さる針」ですね (森若香織/ミュージシャン)

◎人生に退屈しているようで、生意気なようで、不安げで淋しげな石堂夏央。僕はいつの間にか、シャルロット・ゲンズブールのイメージを重ねていた。—SAPIO・世紀末の奇才たち より— (永瀧達治/音楽評論家)

◎制御された演出の中で静かにキレていく主人公たち。——この美意識はカッコイイ!! (フリーター/23歳・男)

◎的確なさじかげんの“リアル”とユニークなキャラクター陣が今までにない奇妙な感覚に私たちを落し入れる (大学生/22歳・女)

◎感動的なラスト。季節が冬で、殺し屋の話なのに、なぜか映画から温かい空気が感じられた (高校生/17歳・女)

11月9日(土)より(22日(金)マテ)レイトショー!

●PM8:50より上映(終映PM10:30)。ただし、毎日曜日は休映致します。

※特別鑑賞券¥1,300(当日一般¥1,600/学生¥1,400)発売中!

●劇場窓口、エストIPG、チケットセゾン、チケットぴあ、関西プレイガイド協会にてお求め下さい。

梅田ロフトB1 06(359)1080  
テアトル梅田

※11/9(土・初日)舞台挨拶  
永澤 俊矢  
石堂 夏央